

会 議 概 要

会議名称	令和元年度 第2回伊那市男女共同参画推進会議
日 時	令和2年2月21日(金) 10:00～11:15
場 所	501会議室
会議事項・概要	
1 開 会 副会長	
2 あいさつ	
会 長	<p>新聞に男女の家事に従事する時間についての記事があった。女性は、男性の4.7倍という結果で、共家事と言われているが、女性の負担が相変わらず重く、いったい何十年先に平等になるのか。男性が、家事に従事する時間が取れない原因は、長時間労働等の職場環境にもあると思う。</p> <p>今日の会議には、アクションプランに関係する各課の課長に出席いただいております、より具体的な内容について意見交換ができると思う。委員の皆様の意見を、「温故知新」という言葉があるように、現状のままでなく1つでも2つでも改革していく施策に繋がっていきたい。</p>
3 協議事項(会長進行)	
(1) 令和元年度アクションプラン事業報告	
	<ul style="list-style-type: none">資料No.1により施策の柱ごとの指標の令和元年度現状値を報告。アクションプランの33項目について令和元年度の取組と実績を説明。
(質疑応答)	
委 員	<p>アクションプランNo.1 市職員の課長級以上職員に占める女性の割合について、市だけでなく、女性登用に対する意識改革が、諸外国に比べて日本は遅れている。</p>
事務局	<p>市では係長昇格候補者試験を導入しており、女性の受験率を上げることが女性管理職の登用に繋がると考えている。職場全体の意識改革に取り組みたい。</p>
会 長	<p>女性が、男性の仕事ぶりがハードだと感じているため、女性管理職になれば、家事との両立はできないと思い、手を挙げることをためらってしまう。男性を含めた改革をしないといけないと現状では無理ではないかと感じている。</p>
事務局	<p>働き方改革については、行政だけでなく企業も取り組みを行っており、長時間勤務等の労働環境は今後改善されていくと思われる。</p>
委 員	<p>急に、管理職になれと言っても出来るものではない。地域も職場もみんなで育てていく。まじめで社交性もあり能力のある女性が大勢いる。活躍するための土壌づくりが大事である。市役所だからこそ進めてほしい。</p>
事務局	<p>市において、過去に多くの女性職員が昇任した時期があったが、一年で自ら退職してしまう方が多くいた。なぜかというとな女性の業務に対するマネジメントが不足していたからではないかと思われる。この反省を受けて、今は人事評価制度を設ける中で、</p>

育成面談を入れつつ業務マネジメントに組織を挙げて取り組んでいる。以前に比べて改善されていくのではないかと考える。職場の環境づくりが必要である。いただいた意見を担当課へ繋げる。

委員：女性のキャリアアップを考える時に、産前産後休暇、育児休暇の仕事へのブランクにより職場との繋がりがなくなる事が影響するのではないかと。市役所では、休暇中の職員へ何か対策を行っているか。

事務局：育児休暇中の女性職員が交流する機会を設けているが、在宅で仕事を少しずつ始めるような事はしていない。また、組織として復帰に向けての研修等は行っていない。

委員：育児に専念する中で、仕事に対するモチベーションを保つことが難しい。モチベーションが下がるとキャリアアップに影響する。

事務局：女性活躍に繋がる内容であるので、より良い方法があれば提案していただき取り組んでいきたい。

委員：退職してしまうと、なかなか正規雇用してもらえない。女性の能力を生かすよう待遇改善が必要なことを会社側へアピールしてほしい。

事務局：イクボス、温かボス宣言をしていただくことで優しい職場づくり、環境づくりに繋がっていけば良いと考えている。

委員：部局長による企業訪問において、どの程度企業側が女性雇用、女性活躍について受けとめているのか。

事務局：製造業を中心に訪問している。女性活躍について特化した内容ではないが、働きやすい職場環境等に触れる中で男女共同参画の周知をしている。人材不足を解決するために、求職者へのPRとなる材料を企業側へ求めている。

委員：企業へ依頼したことが、トップで止まらずに、すべての女性従業員に伝わるよう行政から指導してほしい。

委員：アクションプランNo.6 未満児保育受入数、No.7 学童クラブ利用者数について、目標値を超えているから困るのではないかとという見方をしないといけないのではないかと。学童クラブでは施設的环境が、利用者のニーズに追いついていない。トイレの整備等のハード面も、子どもを理解するための指導員への研修等ソフト面も不足している。課題を解決していく施策が必要である。

事務局：学童クラブの利用希望者は、年々増えており、施設整備が追い付かない状況がある。15か所の学童クラブの施設を、小学校の空き教室の活用を含め計画的に整備していく。利用児童の情報を小学校と情報共有しながら、受け入れをしていきたい。

委員：学童クラブの指導者の研修が必要だと感じた。指導者によって、運営方法が違っているので、市として共通した運営方針が必要ではないか。

委員：本当に困っている人が、利用できていないという現状もある。受入れ基準において、家庭環境等シビアに考えてほしいと感じる事がある。

会長：学童クラブを良くするには、指導員の育成とともに、指導員の勤務時間を含めた待遇改善について対応してほしい。

委員：市では、子ども相談室が機能しているので、学童クラブ利用児童についても、必要があれば指導員を含めた調整会議が必要ではないか。

事務局：より良い運営が出来るよう、関係機関と情報共有を図っていく。

委員：すべての実績については、取組み、結果がすべてではあるが、全体的なバランスを見る中で、アクションプランにおける活動指標の設定がどうなのかと思う項目がある。大事な取組みであることはわかるが、たとえば、女性林業従事者数や狩猟免許取得女性数が増える事が、女性の活躍とする目標に適しているのか。全職種を対象に、商工会議所等との連携を密にして取り組んでいくべきではないか。活動指標の見直しが必要である。

会長：目標指標について置き換えるなど再検討をしてほしい。

委員：アクションプランNo.18 キャリアフェスの今年度の開催状況はどうだったのか。

事務局：企業等 105 のブースが出店した。企業側の意識改革が進んでいて、自分の企業がいかにして中学生をひきつけることが出来るのかを工夫している。人材をどのように育てていけるのかを考えていた。県内、県外から視察に来ている。市のホームページから開催の様子や報告書を見ていただける。

委員：中学生にとって地元を知る大変良い機会を与えていただいている。

今の学校教育は、学年が上がるにつれ、男子が家事を体験する機会が減っている。キャリアフェスのように、男女を分けなくて、子どもが家事に携わっていける教育が入っていけば、すぐに成果は出なくても男女共同参画に繋がっていくのではないかな。

会長：アクションプランNo.2 市の審議会に占める女性の割合については、推し進めることが出来きやすい項目ではないか。

事務局：審議会委員の選出団体へ女性の選出をお願いするよう担当部署へ周知し、目標を達成したい。

事務局：近年、委員の選出にあたり、公募枠を増やしている。女性自ら参画いただける場を増やし、女性の声を広げて行きたい。

会長：アクションプランNo.21 両親学級への夫の参加率について、さらに夫を集める機会を増やす工夫はできないか。

事務局：両親学級は、医療機関でも行っている。受講しないと立ち合い出産を認めない医療機関もある。重複している内容があるので、見直しをする。また、一人目の出産の時は、参加率が高いが、二人目、三人目となると下がってしまうため、参加いただけるような講座を開催していく。実績は、初産婦の夫の出席率とした。

副会長：初産婦の夫とするなら目標値も変えたほうが良い。計画についても、以前から土曜日開催は実施しているので、内容の記載についても考えてほしい。どこに目標値を持つていくのかを良く検討してほしい。アクションプランNo.32 のがん検診受診率についても、全人口に対する率なのか市の受診対象者に対する率なのか等、目標値の母数を明確にしたほうがわかりやすい。

4 その他

- ・男女共同参画社会をめざす市民のつどい会計決算報告

5 閉会 副会長